
絶対に死なない男

雪芳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絶対に死なない男

【Nコード】

N3871J

【作者名】

雪芳

【あらすじ】

あるところに、絶対に死なない男がいました。

彼は絶対に死なない男だった。肉体的も精神も特別秀でてるわけではなかったが、そういうわけか強運だった。

彼の強運が発覚したのは産まれる前からだった。彼を妊娠している母は彼を産む前に自殺を図ったが一切成功せず、最後は仮死状態だった。だが彼を五体満足で産んだ。

翌日、彼と母が入院する病院で大規模な火災が起こるも奇跡的に彼周囲だけ燃えなかった。

その半年後、彼の育てられた施設が地震で半壊したが、彼の周囲だけ壊れなかった。

その半年後、ハリケーンが街を襲うが、彼の周囲だけ（以下略

そんなわけで今この瞬間、彼が高層ビルから飛び下りるも、地上で膨らんでいたバルーンハウスにぶつかったお陰で一命をとりとめたのも、当然と言えば当然であった。

「また死ねなかった……」

噂を聞いて駆け付けたテレビの報道に対し、六十八回死に一生（うち十一回は自殺未遂による）を得た彼は、こう呟いたという。

ある日、彼の元に彼の国の大統領がやってきた。そのせいでガス自殺を阻止された彼は、半べそになりながら、大統領が訪ねてきた理由を聞いた。

「娘を助けてほしい」

大統領の娘は酷い病気で、死にそうらしい。

そんななか、彼女は何を思ったのか、

「絶対に死なない男が死なないなら私も死なない」

と願かけをした。

すると不思議なことに、彼女の容態はすこし良くなったのだそう
だ。

「もし君のお陰で娘の病が治ったら、君に核弾頭を落とそう」
彼は喜んで、大統領の懇願を承諾した。

彼は早速、彼女に会いに行った。するとなるほど、今にも死にそ
うであった。

彼女に死んでもらっては困る彼は、彼女が死なないように様々な
努力をした。

彼女が眠れなければ一晩中子守り歌を歌った。

彼女が泣き出したら一緒に泣いた。

彼女が笑わなければ、体をはって笑わせた。

彼女が寒さに震えたら、その手を強く握った。

彼女が雪をみたいといったら、南極まで行った。

彼女が望んだら、ずっとそばにいた。

彼女のために、何でもやった。

そうしてるうちに、彼女の体はどんどん良くなった。
そして不思議なことに、彼も生きる喜びに気付いていった。

二人はやがて、お互いを慈しむようになった。

ある晴れた午後のことだった。検査の末、彼女を蝕んでいた病魔が、彼女の体から消え去っていることが分かった。

それは実に、信じられない幸運だった。

死ぬはずだった彼女は生きることとなり、死にたかった彼もまた生きたいと願うようになっていた。

その奇跡に、国中の人々が歓喜にわいた。世界中の人々が祝福した。

奇跡の中で二人は、永遠の愛を誓うと、生き続けることの意味を愛と同じ深さで知った。

……右大腿部からとめどなく流れる出血を見つめながら、男はそんな物語を想像した。そして片一方の思考で、絶対に死なない男など世界中探してもいないこと、そして自殺行為を行った自分への後悔を感じていた。

「ああ、腕では上手くいったのに、チクショウ。いてえ……」

リストカットで汚れた腕を使って太股を押さえるが、動脈からの出血がおさまるわけがない。そんな絶望感の中、それでも男の妄想は止まらない。

絶対に死なない男はこのあと……。
絶対に死なない男はこのあと……。

なにかを想像しても、それが自分を救うわけではないことは知っているが、想像し続ける——理解が伴わないから。

妄想で自分は特別なのだと思ってきた。だが現実、社会は自分を特別とはしてくれなかった。それでも。

男の妄想は止まらない。自分は特別であり、そして、自分は絶対に死なない男なんだ——。

薄れゆく意識の中で、後悔に震えながら男は、それでも妄想する。それは止まらず、だが死は現実にある。

絶対に死なない男など、この世にはいない。あの世のことや、生まれ変わりを考えても、そんなことが所詮「妄想」であるように。

人は、死ぬ。

（後書き）

2006年製作かな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3871j/>

絶対に死なない男

2010年10月20日18時55分発行